

安全・安定したエネルギーを確保するための比類なき技術と人的資産

株式会社アトックスは、原子力発電を支える人的・技術的資産を提供するとともに、数十年にわたる経験をベースに、医療への応用を開拓している。

アトックスは、60年以上の歴史を持つ、原子力発電所の保守・管理・廃止措置を行う日本有数の専門企業だ。特に、東京に拠点を置く同社は、福島第一原子力発電所の廃炉と除染に不可欠なノウハウを提供している。

「弊社が昔から行い、最も得意とする事業は除染です。廃炉が始まると、当然のことながら除染は不可欠です。弊社が大きな強みとする専門分野の一つであり、日本全国で多くの廃炉プロジェクトに携わっています」そう語るの代表取締役社長の矢口敏和氏。

2014年に設立した合弁会社では、フランスの原子力企業Orano社と福島で協働している。また、独自の放射線分析技術を提供する英国のCreatec社とのパートナーシップも発展させており、かなり国際的な協業を実現させている企業だと言えるだろう。それ以外にも、米国Central Research Laboratories社のテレマニピュレーターや、同じく米国PaR Systems社のパワーマニピュレーターの日本総代理店も務めている。

「海外企業との提携に力を入れて、その技術や経験を日本で活かしたい」と矢口社長は話す。さらには、遠

「日本における原子力の信頼を回復するために、あらゆるエンジニアリングリソースを活用しています」

株式会社アトックス
代表取締役社長 矢口敏和



隔地での除染を目的とした高所作業車やロボット「Raccoon」など、最新鋭の機器を開発しているのも注目すべきところだろう。

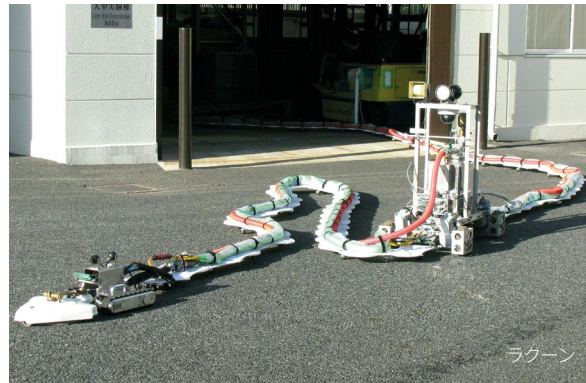
その一方で、核医学分野にも進出を果たしており、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構との産学連携で、世界初のヘルメット型

PET「Vrain」を開発した。検出器を半球状に配置して患者に近づけることで、少ない検出器数ながら高解像度の画像を提供できる最先端のデバイスだ。

他にも理化学研究所と共同で標的型アルファ線治療の開発を進めているほか、ベルギーのIRE ELiT社製の核医

学用放射性同位元素製造装置「68Ge/68Gaジェネレータ」の日本での総販売代理店となっている。

「今は”原子力”と“医療”の事業領域で、製品のラインアップを増やすことを優先し、日本で使える海外の機器を積極的に探しています」と矢口氏は締めくくった。



ラクーン



高所作業車

Brain-dedicated PET that achieves space savings but high resolution

Vrain Vision+Brain

The world's first Helmet-type PET with high resolution



ATOX CO., LTD.
atox.co.jp/en